

青年部

2月全体会議

沖縄視察研修会

青年部（近藤大樹会長）2月全体会議の沖縄視察研修会が、2月9日（金）10日（土）に行われました。今回の全体会議は沖縄県内の最大手といわれる「街クリーン（株）」への施設見学、及び沖縄青年部との交流を図ることが目的です。

9日中部国際空港に参加者26名が集合し、空路で沖縄県へ向かいました。午前10時に沖縄県那覇空港に到着し、世界遺産でもある首里城・守礼門で社会見学を行いました。

首里城は内郭（内側城郭）と外郭（外側城郭）に大きく分けられ、内郭は15世紀初期に、外郭は16世紀中期に完成している。正殿をはじめとする城内の各施設は東西の軸線に沿って配置されており、西を正面としている。西を正面とする点は首里城の持つ特徴の一つである。中国や日本との長い交流の歴史があったため、首里城は随所に中国や日本の建築文化の影響を受けている。正殿や南殿、北殿はその代表的な例である。（首里城公園 HP 引用）

午後から「街クリーン（株）」を訪問し工場見学をしました。同社は「自然との調和のとれた人類社会の創造」の理念のもと、今と未来の環境を見据えて、社会的役割を自覚しながら顧客の『ああしてほしい、こうしてほしい』のニーズに対応するために、あらゆる廃棄物の処理・リサイクルを可能とする『廃棄物処理のワンストップ』という形を目指して事業を展開しています。現在、収集運搬から中間処理、最終処分はもとより、建物解体やエネルギーの販売



まで幅広く事業を拡大され『総合環境サービス企業』を目指しています。また今後もあらゆる分野へと事業の幅を広げて、包括的に環境を創造することで、社会に対して環境負荷低減に貢献していくとのことです。見学は担当者の方に産業廃棄物処理の工程を案内していただき視察見学を終えました。

講演会は同施設内にて開催され、（一財）沖縄公共政策研究所理事長 安里繁信氏を講師としてお招きし、沖縄経済と日本経済の今後の展望について講演いただきました。安里氏は人材不足や資材値上昇など問題が山積している中、青年部からも日本経済を大いに盛り上げてほしい、とエールを送り聴講した全員の胸を熱くしました。その後、地元青年部との交流会是那覇市内の琉球料理店に開催され、琉球舞踊のエイサー演舞ショーを観劇し沖縄の伝統文化に触れることができました。

10日は古宇利オーシャンタワー、琉宮城蝶々園、沖縄美ら海水族館を見学し、沖縄の自然環境について学びました。2日間の沖縄ならではの貴重な視察見学及び社会学習を終え、一行是那覇空港を7時に飛び立ち帰路につきました。

